

向陽

KOUYOU

■発行／東御市商工会広報委員会

■発行人／清水初太郎

■会員数／610

東御市田中178-2

TEL : 75-5536 FAX : 75-0875

Web

2017



新年のあいさつ



東御市商工会長 清水 初太郎

地球環境が人類の生活水準向上と共に悪化し、温暖化を少しでも改善

できればと世界各国で様々な動きが加速しています。自動車の排ガス問題をはじめ、パリ協定の順守等様々な取り組みが勢いづいています。昨年夏には我が市でも集中豪雨的な雨が降り、また稲刈りの季節には長雨で今までにない苦勞を強いられました。11月には何十年かぶりの大雪により果樹園のリンゴも驚き、落葉も一気に進みました。

政財界においては、イギリスのEU離脱、韓国朴大統領の疑惑問題、アメリカトランプ大統領の誕生と想定外のニュースが次々と全世界を駆け巡り混乱しました。地球も、人類も何か「異変」に包まれた感じのする1年でした。今年当面トランプ旋風であれこれ対応が分かれる年となりそうです。トランプ氏の政策次第では、我々中小企業にリスクになる事もあると想

定し、身構えることも必要となるでしょう。

商工会では、会館の一部リフォームを済ませ、創業支援のワークスペース「えべや」を活性化させています。東御市の元気度に貢献し、会員各位の経営力向上に少しでも励みになればと思います。県内どの商工会でも会員減少に苦慮している中、当会では秋に入会キャンペーンを行ったこともあり、廃業等による退会より新入会員が多くなり、喜ばしい状況も報告いたします。

長く続いている市民祭りも昨年から「雷電」の名が取り入れられました。折しも長野県出身の「御嶽海」が大相撲で活躍中ですので、県民もそして雷電生誕の当地も興奮に沸いています。本年は雷電為右衛門生誕250年を祝う会も計画されています。市のPRにうってつけだと思えます。誰しも新年を迎えると過去を振り返り、今年こそはと心に誓うもので

す。国は昨年7月に経営力強化法を制定し、事業者が「経営向上計画」を作成し、国から認定を受けると、固定資産税の一部免除や、金融支援を受けることができます。今年こそはと誓った事を経営計画に落とし込み、国の施策をうまく利用しながら計画を実行していくことが企業の成長を促していくと思います。国は各種補助金や助成金、優遇税制制度など各種メニューを取り揃え企業支援に力を入れています。今がチャンスですので、何でも商工会に相談し活用して下さい。最後に会員の皆様の益々のご繁栄をお祈りし、年頭の挨拶といたします。



新春経済講演会・賀詞交換会



恒例の新春経済講演会を、1月13日、元衆議院議員杉村太蔵氏をお招きし、「一緒に考えよう、日本の未来」をテーマに平安閣みまきを会場に200名余りが参加し開催いたしました。高校時代テニスで団体優勝、大学を6年も通いながら中退。無職になった後、派遣社員でトイレ清掃をしている時、証券会社ゴールドマンサックスのトップになるグリーン・ウッド氏に「君のトイレの磨き方は半端じゃない。君は将来出世する」と言われ、ゴールドマンサックス社に入らないかと誘われ派遣社員から一転外資系証券会社ゴールドマンサックスの社員に。そして、ある日会社から政治が株価にどの様に影響するか調査する様に言われ動向を調べていたところ自民党の公式サイトに出

会い、そこで候補者公募を発見・応募し、小泉旋風の追い風で当選する。『目の前の仕事を何しろ一生懸命やること。携帯電話には5秒以内に出ること。ボールペンを貸してほしいと言われたらボールペンだけを持っていくのではなく一緒にメモ用紙も持っていく気遣い』というお話しには説得力があり大いに感銘・感動を受けました。引き続き、同会場にて新春賀詞交換会を花岡利夫市長はじめ90名が出席し開催いたしました。冒頭、清水初太郎商工会長より「アメリカ経済はトランプ氏の登場でこの先どうなるかわからないが、日本経済は西高東低と言われる西の九州が良くなっている。AI、自動運転などに使われる半導体が業界を引っ張っていく。」との挨拶があり、来賓の祝辞・乾杯と続き新年のスタートを祝いました。2017年日本経済は既往の経済対策の効果に加え、米国の金利上昇による円安の恩恵等を受け、1%台半ばの成長率を達成するとの見方もあります。西年はなにか新しく物事を始め、挑戦する好期とされています。さらに、西年の「とり」は「とりこむ」にも通じ良い縁や商機を大いに取り込む、商売繁盛の1年でもあるようです。さて、今年の経済は如何に。

えべやで初めての交流会を、11月22日に開催しました。当日の参加者は、大人が38名、小人が18名で、広く東信全域から、会員はもとより、会員のご家族、お知り合い、商工会関係者のみなさまほか、たくさんの方にお集まり頂き、たいへん賑わいのある会となりました。



えべやは、4月26日のオープンより半年あまり、会員数は29名、おためしナガノ（県の東京からのIT人材受入れ事業）が7名、のべ利用者数は715名（イベント参加者も含む）となっております。

このたびの交流会は、会員さんから頂いた「えべやは会員も利用者も増えて来たから、利用者同士が交流できる場があったらいいのね」というひと言がきっかけとなりました。そうなんです。コワーキングスペースは、仕事を共有することで横のつながりができるメリットがあります。皆さんご自身のライフスタイルに合わせてご利用されるので、会員同士でも会ったこ

えべやで初めての交流会を、11月22日に開催しました。当日の参加者は、大人が38名、小人が18名で、広く東信全域から、会員はもとより、会員のご家族、お知り合い、商工会関係者のみなさまほか、たくさんの方にお集まり頂き、たいへん賑わいのある会となりました。

賑わい創出！コワーキングスペースえべや“交流会”

コーディネーター 白井 美和



を美味しく食べながら参加者同士のお話もはずみ、ご満足頂ける交流の場となりました。

今回は、御菓子処花岡様にご協力を頂き、特大バースデーケーキでえべやの1周年をお祝いしたり、白石精肉店様に自慢のお肉をご持参頂き、まちゼミの体験会を開催しました。白石様には、クリスマスに向けて「ホットプレートで簡単にできるローストビーフ&チキン」の作り方、「牛肉の珍しい部位」などを教えて頂きました。参加者の皆さんのなかには、熱心に質問をされたり、「うまい、うまい」を連発しながらさつそくSNSで発信してくださる方もいらっしゃいました。みなさんの持ち寄りの品々も加わり、地元の味



とがない人が存在するのです。

山岸広報委員長の「突撃」レポート ～(株)メイクワン 編～



山岸広報委員長の鋭い視点で企業に切り込む「突撃レポート」今回は御牧原でクリスタル製の記念品を企画・製造する「株式会社メイクワン」さんです。

今回お話を聞きしたのは技術顧問の滝沢亮さん。滝沢さんはHOYA(株)で光学ガラス技師として勤務されていたが「クリスタルでもっと幅広い人々に喜ばれるものを作りたい」との思いから当時同僚で現会長の平野信治さんと共に平成4年に創業。「ひとつずつ心を込めて丁寧にする事」を社名のメイクワンに決めました。本社は目黒にあり、ここ長野工場では製品の企画・製造を行っています。

イチロー選手や松井選手の記念バットやAKB48のクリスタルトロフィーなども手掛け、表彰・記念品、インテリア小物等幅広いクリスタル製品を取り扱っています。

〈山岸〉初めまして。広報委員長の山岸と申します。早速ですが創業のきっかけを教えてください。

〈滝沢〉私はHOYA(株)で技術屋として勤務していましたが、急に母が亡くなり実家に戻ることになりました。HOYAで培った技術を活かし人々に喜ばれる商品を販売しようと思い、実家を改装しクリスタル製のペーパーウェイトを作り始めました。創業当初は受注も少なく、記念品等のカタログに載せてもらったり、展示会に出展したりして徐々に販路を開拓していきましました。平成12年、当社の技術力や提案力が認められ、ティファニーから大口の注文が入りました。これを機



に御牧原の社屋を購入。新規受注も順調に増えていきましました。

〈山岸〉創業当初は苦労されたんですね。先ほど技術力・提案力の



お話がありましたが、詳しくお聞かせ頂けますか？

〈滝沢〉当社はお客様の要望に合わせてデザインを提案し、完

成品に出来る事が強みです。本社及び長野工場にはデザイナーがおり、お客様との打合せを重ねる事で満足させる製品を作り上げています。また、部品の在庫を多く持つことで提案する幅が広がります。部品点数は800ほどあり、その組み合わせでオリジナルな製品を提案できるのです。オーダーは1つから承っています。

〈山岸〉お客様満足度を高める努力をしているのですね。新しい技術も出てきていると思いますが、御社では今後どんな戦略をお考えですか？

〈滝沢〉昨年度「ものづくり補助金」を活用しクリスタルに直接印刷できる機械を導入しました。A2サイズまで直接印刷ができるタイプです。A2の需要はあまりありませんが、我社の提案力を活かして新たな需要の掘り起こしを進めています。併せて、印刷を立体的に行い「レンズ効果」を持たせた製品開発も進めています。また、現在の取引はBtoBが主体ですが、BtoCに力を入れようと

思っています。よりオンリーワンの商品提案したいと思っています。

〈山岸〉商品開発のアイディアはどんなところから生まれるのですか？

〈滝沢〉当社の製品は「隙間」です。常にアンテナを張って、クリスタルを使っていない分野の商品をクリスタルに置き換えられないか考えています。例えば仏具とか。

〈山岸〉面白そうですね。課題はありますか？

〈滝沢〉デザイン力には自信を持っていますが、技術者が不足していると感じています。新商品の開発や新しい分野に参入するに当たって、例えば、クリスタルと新素材の組み合わせや加工などは技術やノウハウの蓄積が必要です。若手の技術者を育て、お客様のニーズにとことん応えていくことが当社の使命だと思っています。

〈山岸〉そうですね。人材育成は企業成長のカギともいえますね。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。



御牧原 2747
6710510

株式会社メイクワン

中小企業の「稼ぐ力」を高めよう！

平成 28 年 7 月 1 日に中小企業等経営強化法が施行された。これは中小企業の「稼ぐ力」、特に生産性向上のための法的枠組みである。担当省庁により生産性向上の事業分野別指針が示され、中小企業はこれを参考にして「経営力向上計画」を作成する。商工会がこれを支援し、担当省庁がこれを認定する。これにより固定資産税の軽減措置や金融支援を受けることが出来る。

そもそも「稼ぐ力」とは何か？中小企業白書では売上高経常利益率を指標として取り上げている。すなわち「売り上げを獲得する力」と「できるだけ少ない費用で売り上げを上げる力」の事である。後者の代表が生産性の向上である。

白書では、生産性の高い稼げる企業は成長投資に積極的に取り組んでいると分析している。稼げる企業の取り組みとして IT を活用した省力化や合理化、海外展開などを紹介している。これらはリスクがつきものであるが、稼げる企業はリスクにも備えながら計画的に投資している。

一方、投資には資金が必要である。無借金企業よりある程度借り入れがある企業

のほうが「経常利益率が高い」と白書では指摘している。すなわち賢く資金を調達して成長投資を検討すべきと説いている。

経営者は商工会や診断士等外部の専門家と連携し、現状分析やリスク分析の検討などを通じて賢い事業計画を策定し、成長投資を行うことで「稼ぐ力」を向上させていくことが重要となる。

会員の皆様も、現状を見つめ直し、今後の成長戦略を考える良い機会ととらえ、1度「事業計画」を策定してみたいかがでしょうか。

information

長野県最低賃金のおしらせ

長野県内の事業場で働く全ての労働者と、労働者を一人でも使用している全ての使用者に適用される「長野県最低賃金」が、平成 28 年 10 月 1 日から時間額 770 円に改正されました。

この機会に、ぜひ賃金の確認をしてみてください。

また、最低賃金の引上げに向けた中小企業への支援制度（業務改善助成金、キャリアアップ助成金や相談窓口）がありますので、是非ともご利用ください。

最低賃金に関するお問い合わせは—

上田労働基準監督署へ ☎22-0338

とうみマリアージュ・プロジェクトが動き出しました！

東御市では、平成 28 年 1 月に東御市雇用創造協議会を設立し、平成 28 年 7 月 1 日から実践型地域雇用創造事業を開始しました。これにより企業の雇用拡大を目的としたセミナーや求職者の就職に向けたスキルアップを図る講座等、地域の特性を踏まえた事業を 2 年 9 ヶ月の期間で実施していきます。

本事業では本市の強みである標高差が育む豊かで多様な農畜産物や観光資源を活用し、ワインに合う新たな料理やワインを機軸とした地域ツーリズムの開発を一体的に行うとともに、事業主や求職者に求められるスキルを習得するための各種セミナーを開催することによって、農業・商工業・観光業を結び付け（マリアージュ）、市内事業者の事業拡大及び求職者の雇用の場の確保を目指します。

※実践型雇用創造事業とは

雇用情勢の厳しい地域において、地域関係者の創意工夫や発想を活かして雇用創出を図ることを目的として、厚生労働省から協議会が委託され実施する事業です。

予定されているセミナー&就職面接会

2 月 18 日 東御市事業所合同就職面接会

13:00 ~ 16:00

JA 信州うえだ ラ・ヴェリテ 2F

農業マーケティング実践講座 (3 回)

13:00 ~ 16:00

東御市中央公民館

1 回 2/20 ほとんどの農家が知らない農業マーケティングの基礎

2 回 2/21 地域資源の魅力を引き出す 6 次産業化への取り組み

3 回 2/22 外から人を呼び込む体験型ツーリズム企画

※詳細については事務局 (0268-67-0540) までお問い合わせください。

東御市の課題



課題の解決は…雇用の創出から



私たちは、東御市に「住みたい・働きたい」環境の創出と雇用の支援します。